ALAMCO 朝日ライフ アセットマネジメント

News Release

2026 年 11 月

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第 301 号
加 入 協 会 ： 一 般 社 団 法 人 資 産 運 用 業 協 会

社会貢献活動を行う団体への寄付につきまして

～公募投信「ALAMCO SRI 社会貢献ファンド（愛称：あすのはね）」の寄付のお知らせ～

「あすのはね」では、2000 年９月のファンド設定以来、毎年、地域社会への貢献を目的として、信託報酬の一部を、社会的課題の解決や SDGs（持続可能な開発目標）の達成に取り組む団体へ寄付しております。
今年で 26 回目の寄付となり、10 月 27 日に以下の７団体へ寄付いたしました。

今後も皆様のご期待に応えるようパフォーマンスの向上等に全力で取り組んで行くとともに、社会的課題の解決やＳＤＧｓの達成への貢献に努めてまいります。
引き続き、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（五十音順）

海を通じて、自然との共存を学び、確立します

OWS Research and Education Non-profit organization The Oceanic Wildlife Society

特定非営利活動法人　ＯＷＳ

ＯＷＳは 1998 年に設立した海の環境 NPO 法人です。海の自然と生き物を通して「親しむ・学ぶ・大切さを伝える」活動を推進しています。現在、主に次の４プロジェクトに取り組み、さまざまな連携や協働を創出し、成果を得ています。

◆海の子プロジェクト：海離れ、自然離れが著しい昨今、自然体験学習を通して子どもたちに海の自然や生き物とのふれあいの機会を創出しています。これまで 3,300 人以上の子どもたちが参加しました。

◆サンゴ調査プロジェクト：研究機関と連携し、温暖化の影響評価のためのサンゴおよび魚類のモニタリング調査や探索調査を毎年全国 10 海域以上で実施しています。

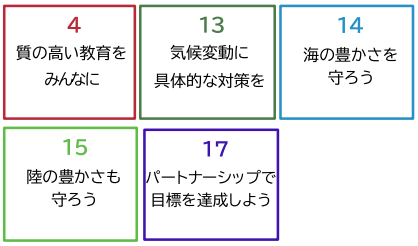
◆海洋ごみプロジェクト：定例ごみ回収活動、写真資料展、出前授業、講演等、毎年 10,000 人以上を対象とする海洋ごみ削減の普及啓発を実施しています。

◆干潟保全プロジェクト：研究者、地元住民や学校等、多様な主体と連携・協力し、希少干潟の保全を進めています。紀伊半島、三浦半島を中心に黒潮流域の各干潟での調査も併せて実施しています。



（左）理事　宮川 貴子 様

《SDGs 目標》



すべての子どもたちが夢や希望を持てる社会の実現を目指しています

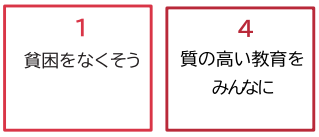
認定特定非営利活動法人　キッズドア

2007 年より、国内の経済的困窮世帯の子どもたちのための無料の学習支援事業を展開しています。小学生から高校生世代までを対象に、東京都を中心に埼玉県、宮城県、兵庫県でも活動しています。
2020 年からはオンラインによる学習支援を開始し、全国エリアの子どもたちの支援も行っています。加えて、外国にルーツのある子どもや不登校の子どもへの支援、都立高校へアウトリーチし校内居場所等の運営なども行っています。新型コロナウイルス感染症の流行以降は、保護者支援が緊急で必要になったことから「ファミリーサポート事業部」を立ち上げ、全国の保護者に対する情報支援、食糧支援、就労トレーニングなども行っています。
2026 年夏から神奈川県初の拠点を横浜に開所しました。
また、学習支援やファミリーサポートの登録者からの声をとりまとめ政策提言も行っています。



（左）専務執行役員　松見 幸太郎 様

《SDGs 目標》



子どもの虐待防止に取り組む専門の民間相談機関

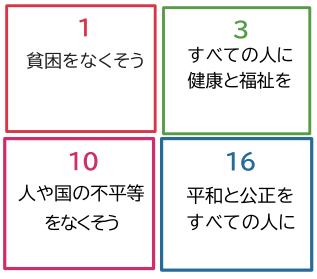
社会福祉法人　子どもの虐待防止センター

社会福祉法人子どもの虐待防止センターは、1991 年、「児童虐待」という言葉がまだ社会に広く認知されていなかった時代に設立された団体です。
1997 年には社会福祉法人として認可を受けました。1991 年の設立以来、子ども虐待の予防と早期発見、家族への支援に取り組んできました。
当法人では、電話相談事業をはじめ、母親グループの運営やペアレンティングプログラム®の実施などを通じて、子育てに悩みや不安を抱える保護者を支援しています。また、研修やセミナーを通じて、子どもや家庭に関わる専門職への支援にも取り組んでいます。
さらに 2019 年からは医療事業を開始し、児童精神科を中心とした専門的な支援を提供しています。
情報があふれる現代においても、子育ての不安や孤独を感じるという声は相談の現場で絶えることがありません。その不安は外からは見えにくいものです。そんな時に安心して気持ちを話せる場が、大きな支えとなることがあります。私たちは、子育ての不安や孤立に寄り添いながら、子どもと家族が安心して暮らせる社会の実現に貢献してまいります。



（左）副理事長　河津 英彦 様

《SDGs 目標》



自然環境の復元と、ヒトが心豊かに暮らせる地域社会の創造

認定特定非営利活動法人　自然環境復元協会

多様な生き物と共に暮らす社会を目指し、「身近な自然環境を復元すること」「自然体験を通した豊かな感性と人間力溢れるヒトが育つ場を提供すること」を使命に、日本国内にて主に３つの事業を行っています。

●ふるさと未来創造プロジェクト

農山漁村の活性化活動を通じ、都市と農山漁村がお互いの魅力を分かち合う「グリーン・ツーリズム」を実践。これまで 65 地域以上で活動し、現在は、屋久島支部を立ち上げ、運営しています。

●環境再生医制度

環境再生医事業では、資格制度を通じて「さまざまな分野」に正しい知識と行動力を持った環境人材が拡がることにより、『Regenerative /リジェネラティブ※』社会を目指しています。

※リジェネラティブとは、環境や社会を「サステナブル/持続」させるだけでなく、ダメージを受けた自然環境や地域コミュニティを積極的に「再生・回復」させる概念です。

●レンジャーズプロジェクト

若手のボランティア希望者が地域の環境保全団体へお手伝いに行く環境保全ボランティアです。ボランティア希望者が環境活動を始めるきっかけを創出し、高齢化や人手不足などで困っている環境保全団体の課題解決を目指します。



（左）理事長　島村 雅英 様

《SDGs 目標》



災害・紛争などで困難に陥った人びとが尊厳のある暮らしを取り戻し、人と人が対等な関係でつながる世界を目指します

認定特定非営利活動法人　パルシック

パルシックは、民際協力とフェアトレードを中心にアジア地域で活動するＮＧＯです。国と国の協力である「国際協力」ではなく、市民と市民との協力である「民際協力」を掲げ、地球上の各地で暮らす人びとが国境を越えて直接的に助け合うことを大切に活動しています。

能登半島地震の被災者支援では発災直後から、食料・生活必需品などの配布や避難所での温かいコーヒーや紅茶の提供などの活動を実施しました。震災で人と人とのつながりが薄れ、被災者が孤立しつつあったことから、地域を超えた居場所づくりの必要性を感じ、被災して営業を中止していた「能登七見健康福祉の郷なごみ」の一部を町より借り受け、2025 年２月からカフェ、運動施設（ジム）、キッズスペースを備えた「なごみ」の運営を開始しました。施設利用者は月に 650 名程度あり、さまざまなイベントや月１回の子ども食堂やフードパントリーも実施し、地域・世代を問わず人びとが気軽に立ち寄れ、食やイベントを通して交流する場となっています。



（左）代表理事　大野 容子 様

《SDGs 目標》



「にんしん」をきっかけに、誰もが孤立することなく、自由に幸せに生きることができる社会の実現を目指します

認定特定非営利活動法人　ピッコラーレ

ピッコラーレは、妊娠葛藤（予期しない妊娠、妊娠したかもしれないという不安、妊娠にまつわるさまざまな悩み）を抱える方への支援を行っています。
児童虐待死で最も多いのは、生まれたその日に命を失うケースです。その背景には、誰にも相談できず孤立したまま出産に至るという現実があります。
私たちは、「にんしん」をきっかけに誰もが孤立することなく、自由に幸せに生きることのできる社会の実現を目指して、主に以下の活動を行っています。

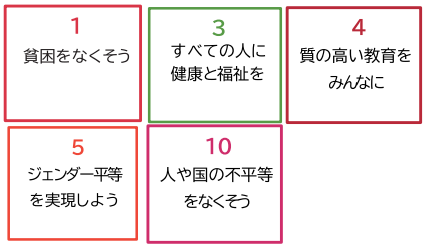
・「にんしん SOS 東京」をはじめとする妊娠葛藤相談窓口の運営
・居所のない若年妊婦の居場所「ぴさら」の運営
・若年未婚母子が安心して集い、つながることのできる居場所「マハロ」の運営
・10 代・20 代を対象としたアウトリーチ型保健室「ピコの保健室」の運営
・支援者の育成およびスキル向上を目的とした研修の実施
・妊娠葛藤や若年妊婦支援に関する提言活動

妊娠や出産にまつわる悩みは、周囲から見えにくく、一人で抱え込まれてしまうことがあります。私たちは、どのような状況にあっても安心して相談できる環境づくりに努め、一人ひとりに寄り添いながら、誰も孤立することのない社会の実現を目指しています。



（左）事務局長　小野 晴香 様

《SDGs 目標》



障害者クライミング普及活動を通じて、多様性を認め合えるユニバーサルな社会の実現を目指しています

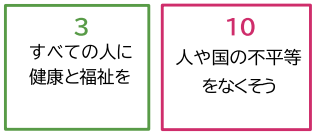
特定非営利活動法人　モンキーマジック

「見えない壁だって、越えられる。」を理念に、国内で 20 年以上にわたり障害者クライミングの普及に取り組んでいます。
障害のある子どもや大人に向けたスクールを開講するほか、誰もが一緒に楽しめる交流クライミングイベントを定期的に開催しています。さらに、講演会や体験会も積極的に展開しています。
クライミングは、障害の有無を問わず同じルールで楽しめるスポーツです。単に「助ける・助けられる」関係を超え、互いを尊重し合う「仲間」として壁を取り払うことで、多様性を認め合う場を創出しています。
私たちは、障害や年齢、性別、文化の違いを越えて、誰もが支え合い安心して暮らせる社会を目指しています。皆が自分らしく力を発揮できる未来に向けて貢献を続けてまいります。



（中央）代表理事　小林 幸一郎 様
（左）木本 多美子 様

《SDGs 目標》



※上記7団体は、第26期計算期間にかかる金額を寄付させていただいた団体であり、第27期計算期間以降については、上記団体に寄付を行うとは限りません。

ALAMCO SRI 社会貢献ファンド（愛称：あすのはね）の特色

1．国内の上場株式を主要投資対象とし、ビジネスを通じて社会的課題に積極的に取り組み、社会に貢献する企業の株式に投資します。
2．個別企業調査を基本としたボトムアップ・アプローチを重視した銘柄選択を行います。中長期的な視点に立って、価値ある銘柄を安く買い、価値の成熟と株価の上昇を待つ運用を行います。
3．信託報酬の一部を、社会的課題に取り組む団体に寄付します。（寄付の金額は、ファンドの日々の純資産総額に応じて年 0.1～0.2%の率を乗じて得た額とします。）

投資リスク

ファンドは値動きのある有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の値動きなどの影響により、基準価額が下落することがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、これを割り込むことがあります。
ファンドは預貯金と異なります。
信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「ESG 運用に関するリスク」、「株価変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧下さい。

ファンドの費用

◆投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に 3.3%（税抜 3.0%）を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額 ※詳しくは、販売会社へお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に 0.3%の率を乗じて得た額

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に年 1.958%（税抜 1.78%）の率を乗じて得た額
その他の費用・手数料	以下の費用などがファンドから支払われます。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。 ・ファンドの監査費用（ファンドの日々の純資産総額に年 0.0055%（税抜 0.005%）の率を乗じて得た額。ただし年 44 万円（税抜 40 万円）を上限とします。） ・有価証券売買時の売買委託手数料 ・先物・オプション取引等に要する費用

※ファンドの費用（手数料等）の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

左記 QR コードをクリック、または読み取りにより、
当社ホームページのファンド情報をご覧いただけます。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、「当社」といいます。）が、「ALAMCO SRI 社会貢献ファンド（愛称：あすのはね）」に関する情報提供を目的として作成したものであり、特定の有価証券の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■ファンドは価額変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容について確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。2026-10-1173